

は し が き

令和3年度の気象は、8月半ばの大雨による被害や12月の大雪の被害があったものの、極端な低温や日照不足等はありませんでした。

このため農作物の作柄は、水稲が作況指数（南部・下北）100と平年並となったほか、ながいもやにんにくをはじめ、ごぼう、だいこん、ねぎなど上北地域の主力野菜も概ね良好な作柄となりました。

一方、販売価格は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により米・野菜ともに総じて軟調に推移し、所得面では厳しい一年となりました。

当農業普及振興室では「攻めの農林水産業」推進上北地方本部の活動方針と普及指導計画に基づき、地域農業の活性化に向けた取組を進めてきました。

具体的には、地域の経営体、農業協同組合、市町村等と連携しながら、自動操舵トラクタなどスマート農業機械の普及、ながいもやにんにくの優良種苗供給体制の構築、新規就農者や若手農業者の育成、女性農業者の活躍促進による農山漁村の活性化等に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、計画どおりの普及指導活動ができない状況の中、通信機器を活用したリモートでの会議や研修会の開催など、新たなツールによる普及指導活動を模索する1年となりました。

本冊子は、これらの取組や、地域の情勢、農業者の動向等を取りまとめたものです。御支援、御協力いただきました関係者の皆様に心から御礼申し上げますとともに、今後の参考となれば幸いです。

令和4年3月

上北地域県民局地域農林水産部長

井 畑 勝 博